



9/16,17の休みを挟んで今日9/18から調査再開。

1号トレンチ内で発見された住居跡内の埋め土を引き続き掘り下げています。すると、縄文土器に代わって古墳時代の土師器ばかり出てくるようになりました。どうやら住居の時期は古墳時代ようです。



一方、1号トレンチ南端の調査区では、表土下から他の調査区と同じように土器の破片がたくさん出ていますが、よく観察すると他と異なる特徴があります。土器の破片がやや大きなこと、縄文時代後期の土器ばかりであること、同じ個体の破片がまとまって出ていることです。もしかしたらここに縄文時代の遺構があるかもしれません。



今日は東京の小学校から5年生120人が陸平貝塚の発掘調査の見学に来ました。みんな熱心に説明を聞いています。